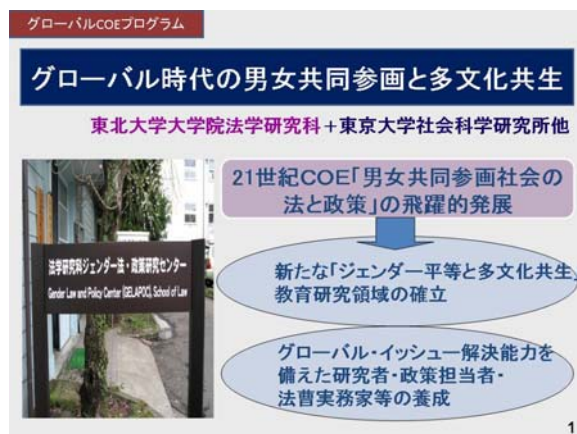


「8月7日キックオフ・セミナー：GCOE グローバル時代の男女共同参画と多文化共生について」

6月の採択を受け、東北大学法学研究科・東京大学社会科学研究所による、今後5年間のGCOEプログラムの趣旨などを説明・紹介し世界的ネットワークを確立するためのキックオフ・セミナーを、2008年8月7日（午後4時～5時半）東京大学情報学環・福武ラーニングスタジオ（本郷）で開催しました。



当日のプログラムとしては、稲葉馨東北大学法学研究科長、小森田秋夫東京大学社会科学研究所長の挨拶、GCOEプログラム事業推進担当者の自己紹介に続いて、問題提起が行われました。問題提起は、辻村みよ子教授（拠点リーダー・東北大学）より「男女共同参画から多文化共生へ」、大西 仁教授（拠点サブリーダー・東北大学）より「パロキヤリズムと普遍主義」、大沢真理教授（連携拠点リーダー・東京大学）より「排除を超えてともに生きる社会へ」、水野紀子教授（拠点サブリーダー・東北大学）より「生命をはぐくむ家族と社会」の4つの報告が行われました（資料：<http://www.law.tohoku.ac.jp/gcoe/schedule/20080807.html>）。その後、問題提起に対する質疑応答とプロジェクトからの連絡事項としてフェローの採用等についての紹介がありました。



会場にはこの問題に関心をもつ内外の研究者・大学院生・スタッフなど約70名が参加

し、グローバリゼーションがジェンダー平等に与える影響などをめぐって活発な質疑を行いました。

またその後に行われた懇親会は、さっそくプロジェクト構築など今後の活動企画について打ち合わせが始まるなど、GCOE プログラム関係者およびプログラムに関心を持つ参加者との交流、専門分野を超えた貴重な意見交換の機会となり、今後5年間の活動に対する熱意・熱気が感じられる有意義なスタート会となりました。